

【緑地を楽しむ本】

『動物たちは何をしゃべっているのか?』

山極壽一/著 鈴木俊貴/著

集英社



葉が落ちた庭の木に、鳥たちがやってきます。ジージピ、ピと賑やかに枝をつついたと思うと、慌ただしくお隣りの庭へ移って行っちゃいました。楽しそうに、何をしゃべっているのかしら?

そんな鳥の中でも、私たちにおなじみのシジュウカラは鳴き声に意味があり、なんと単語や文法もあるということを解明したのが今回の著者の一人、鈴木俊貴さんです。言葉がわかるということは、シジュウカラの考えや

性格もわかるのですね。時々嘘をつくのだとか。ちょっと微笑ましく感じます。

そして他方はゴリラ世界に身を投じてゴリラの生き方をじっくり学んできた山極壽一さん。お二人の対談が面白くないわけがありません。

鳥もゴリラも、お互いに直接コミュニケーションをとります。ヒトも長い間そうでした。ただ、文字が発明され、今ではインターネットやSNSが出てきて人と人の直接のふれあいが少なくなってきてしまった・・・私たちはもっと動物たちの生き方から学ぶ必要がありそうです。

(小川)